

竹下復興大臣「東北復興水産加工品展示商談会 2015」での 会見録

(平成27年6月16日(水) 17:00～17:04 於) 宮城県仙台市)

1. 発言要旨

今日は水産加工品の展示会、そしてバイヤーの皆さん方を入れたセミナーも含めて視察をさせていただきました。ブースを回っておりまして、俺のところのものはこんなにうまいんだ、どうして買ってくれないんだよという、もう商品が声上げているのを感じるぐらい皆さん熱心な物づくりであり、熱心な売り込みである。ただ、そうは言いましてもまだ被災から4年余りで完全に立ち直った状況ではありませんので、売行きはと聞きますと、いや、まだまだなかなかという返事です。だけど、この地元の一番の収入である水産加工品がしっかり売れて雇用につながってまちの活性化につながる、そこまでいかないと復興というのはできないと、こう思っていますので、ますますこういう会を活用していただいて、復興の加速化をなし遂げていきたい。しかし、手応え感じました。皆さんやる気ですし、十分な手応えは感じました。

もう一つは、一回じゃなくてもっと何回もこれからもやってくれという要望もありました。検討させていただきたいと、こう思っております。私からは以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 大臣、まさにおっしゃいましたけれども、参加されている、出展されているこの水産加工業者の方々は、まだ売上、それこそ8割まで戻っていないという方がほぼ40%というような状況の中で、やはり大規模なこういった売り込みができる、こういう展示会みたいなものがすごく必要とされていると思うのです。そのあたり、やはり回られてみてすごく実感されたのかなって、お話聞いていて思ったのですけれども。

(答) 引き合いありましたとか、商談ありましたって聞いたら、いや、何社からもありましたと。今商談スタートしていますと。まだ成約まではこれから幾つかのステップを踏んでいかなきゃいかんのですけれども、そういう引き合いがあったという実感を生産者の皆さん方もお感じになっているようでありまして、意味があったなと、こう思っております。もともとがこれ商工会議所の皆さん方、あるいは大日本水産会の皆さん方がやりたいということでやられた商談会でありますので、復興庁はこれまで例えば結の場ですとかマルシェですとか、あるいは企業のアドバイザーを派遣したりいろんなことやってきましたが、やはり商売のことは商売や

っている皆さん方に任せて、我々はもう徹底的に後援する、後押しするということをやらなきゃいけないと改めて感じました。

(問) 今日、大臣、手応えお感じになったとおっしゃっていましたが、一方でバイヤーさんの入場者数という意味では若干伸び悩んでいる感もあるかと思うのですけれども、そこに対してはいかがでしょう。

(答) 私は何人ぐらい来たか存じ上げないのですが、7箇所で開催され、それは非常に熱心なやりとりだったというふうに伺っております。それから今回ってきて、何件か寄ってきた感じでは、バイヤーさんの熱意も相当あったと、手応えあったというふうに生産者の皆さん方おっしゃっていますので、結構いい感じじゃないかなと、私なりに判断しております。

(以 上)